

富士山火山防災避難マップ

～もしもの噴火に備えて～

富士北麓版



富士山は、清らかな水や素晴らしい景観などを与えてくれる大切な山ですが、一方で、これから噴火をするかもしれない活火山でもあります。このマップは、富士山ハザードマップ検討委員会の検討成果、さらに山梨県による詳細な検討データをもとに作成したもので、噴火警戒レベルごとの避難方法などが記載されています。日頃から熟読していただき、もしもの場合に備えてください。

【発行】 富士山火山防災協議会・山梨県

＜協議会構成市町村＞ 富士吉田市・富士河口湖町・西桂町・山中湖村・忍野村・鳴沢村・身延町＞

【協力・資料提供】 内閣府（内閣府防災担当）・総務省（消防庁）

国土交通省（河川局・気象庁・関東地方整備局・中部地方整備局・富士砂防事務所）
山梨県環境科学研究所

【監修】 荒牧重雄・池谷 浩・興水達司・小山真人・宮地直道

【調査製作】 （財）砂防・地すべり技術センター

【発行日】 平成18年 3月 【印刷】（株）サンニチ印刷

【修正日】 平成22年 3月

※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図、20万分の1地勢図及び5万分の1地形図を複製したものである。（承認番号 平17総復、第930号）

このマップで想定している噴火規模と現象

このマップでは、溶岩流、噴石、火砕流、融雪型火山泥流の危険地域を主に対象としましたが、火山灰など他にも影響を及ぼす災害現象があるので注意しましょう。

○ 火山灰の影響について

- ・富士山が噴火すると広い範囲に火山灰が降る場合があります。
- ・火山灰は火口近くで厚く積もり、遠くに行くほど薄くなりますが、その分布範囲は風向き、や風速、噴火規模によって大きく変わります。
- ・火山灰が積もると、健康への悪影響や農作物の被害、交通障害、停電や家屋の倒壊などが起こりやすくなります。
- ・その後の降雨により土石流が発生しやすくなります。

○ 想定する噴火の規模

- ・大規模噴火が起こる直前には前兆現象が観測される見込みがあるため、事前の避難が可能となります。
- ・小規模の場合は前兆現象を見逃すこともありえますが、山麓の街への影響は小さいと考えられます。
- ・実際に噴火した場合、現象の及ぶ範囲はマップに示した全地域ではなく、火口の位置によりその一部だけとなります。

過去の富士山の噴火実績

大規模 2%（864年貞観噴火、1707年宝永噴火）
中規模 11%（剣丸尾溶岩、印野丸尾溶岩など）
小規模 87%

役所から出される情報にしたい、早めの避難を心がけましょう。

防災機関の連絡先

富士吉田市 安全対策課 0555-22-1111	鳴沢村 総務課防災担当 0555-85-2311	気象庁 甲府地方気象台 055-222-9101
西桂町 総務課防災担当 0555-25-2121	身延町 総務課防災担当 0556-42-2111	山梨県 消防防災課 055-223-1432
忍野村 総務課防災担当 0555-84-3111	富士吉田警察署 警備課 0555-22-0110	山梨県 砂防課 055-223-1710
山中湖村 総務課防災担当 0555-62-1111	富士吉田消防署 0555-22-0119	※道路情報の問い合わせ先
富士河口湖町 管理課防災担当 0555-72-1111	河口湖消防署 0555-72-0119	日本道路交通情報センター 055-232-5000

富士山火山防災協議会ホームページ（富士吉田市ホームページ内）

URL: http://www.city.fujiyoshida.yamanashi.jp/forms/info/info.aspx?info_id=1638

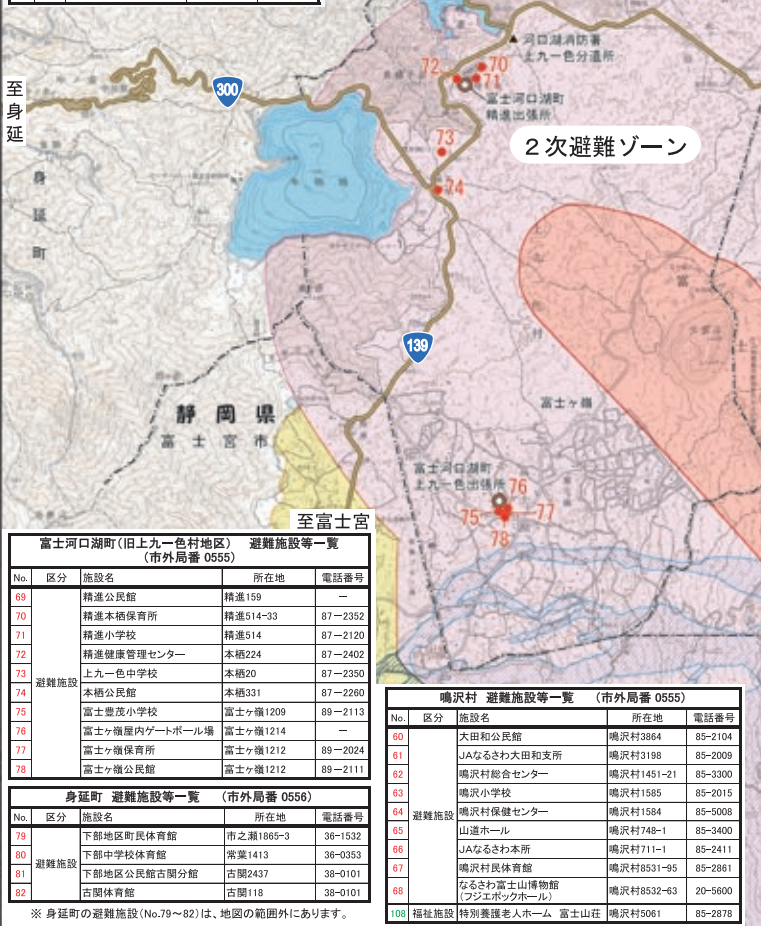


左のQRコードで携帯電話からでもご覧になります。

http://www.city.fujiyoshida.yamanashi.jp/div/bosai/html/kazan_kyougikai/kyougikai_i.htm

富士北麓版 避難ゾーン区分図

富士河口湖町 避難施設等一覧 (市外局番 0555)					至 甲府				
No.	区分	施設名	所在地	電話番号	No.	区分	施設名	所在地	電話番号
15	避難施設	町民体育館	船津5542-1	73-1220	32	避難施設	船津福祉センター	船津6713-51	72-1417
16		中央公民館	船津1747	72-0001	33		小立福祉センター	小立6777	72-2008
17		船津地区公民館	船津3737	—	34		大石福祉センター	大石72	76-7702
18		船津小学校	船津3737	72-0052	35		河口福祉センター	河口6-1	76-7302
19		河口湖南中学校	船津1164	72-1142	36		勝山福祉センター	勝山1006	83-2921
20		小立小学校	小立2446	72-1512	37		足和田福祉センター	長浜1222	82-2311
21		大石小学校	大石1425	76-7714	105		介護老人保健施設はまなす	船津字桜休場6901	83-3285
22		河口小学校	河口1560	76-7334	202		山梨赤十字病院	船津6663-1	72-2222
23		河口湖北中学校	河口3120	76-7324					
24		勝山小学校	勝山1047	83-2027					
25		勝山中学校	勝山1048	83-2339					
26		勝山ふれあいセンター	勝山4029-5	83-2111					
27		勝山ふれあいドーム	勝山4133	73-3788					
28	避難施設	西湖南体育館	西湖南12-1	—					
29		西浜小学校	長浜1062	82-2144					
30		西浜中学校	長浜1061	82-2644					
31		大嵐小学校	大嵐559	82-2132					



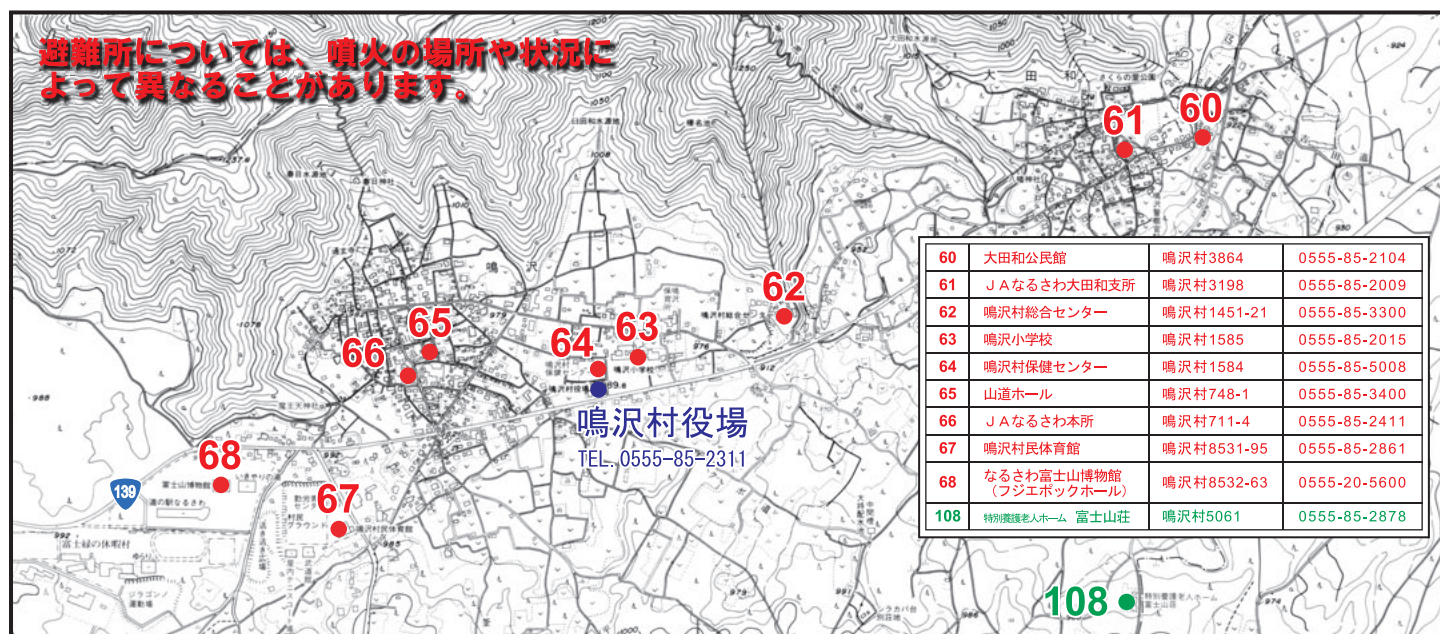
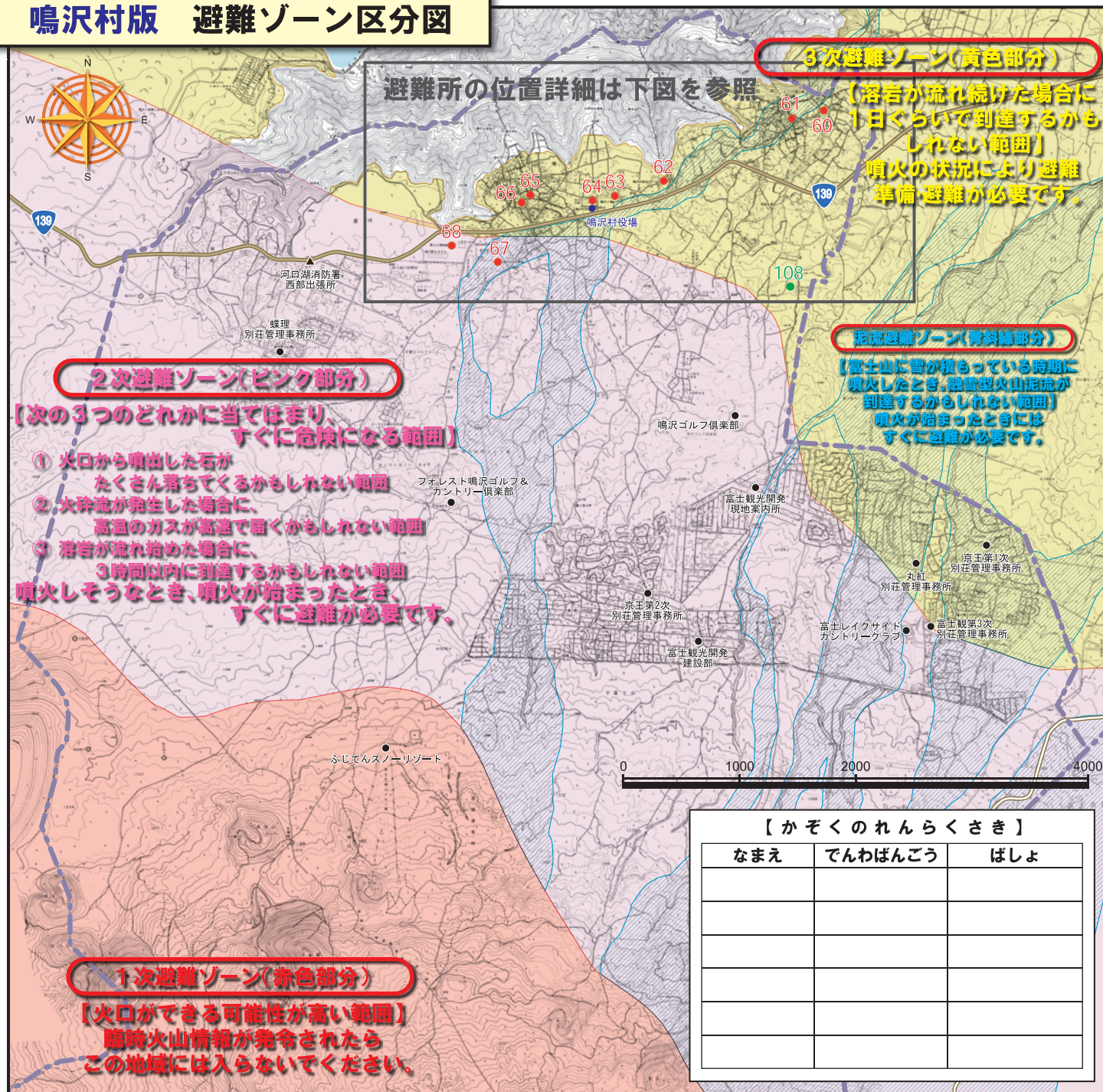
図の見方と記号の意味

- 年間 1次避難ゾーン 火口ができる可能性の高い範囲です。この範囲に必ず火口ができるとは限りません。
- 年間 2次避難ゾーン 噴火しそうな時、噴火が始まった時すぐに避難が必要な範囲を示しています。噴火した場合に下の3つのどれかに当てはまり、すぐに危険になる範囲です。
- 雪の時期 泥流避難ゾーン 富士山に雪が積もっている時期に噴火が始まった時、すぐに避難が必要な範囲を示しています。融雪型火山泥流が短時間のうちに到達する可能性のある範囲です。
- 年間 3次避難ゾーン すぐに危険にはなりませんが、火口位置によっては避難が必要な範囲です。公的機関から出される避難情報に注意して下さい。また、避難に人の手が必要な方は早めの避難が必要です。溶岩が流れ続けた場合に、1日ぐらいに到達するかもしれない範囲を示しています。

- 1～82 避難施設位置
- 101～108 福祉施設位置
- 201～202 おもな病院位置

番号は避難施設等一覧表に対応しています。

鳴沢村版 避難ゾーン区分図



富士山が創った火の神による芸術



西暦864年（貞観6年）に鳴沢村内ふじてんスノーリゾート西の長尾山付近からあふれ出した灼熱のマグマは大森林地帯を焼き尽くし、太古の湖「せのうみ」を西湖と精進湖に分断し、鳴沢村一帯にも到達しました。
このマグマにより溶岩樹型や溶岩スパイラルなど多くの“芸術作品”が創りだされました。
富士山が創った火の神による芸術はここで紹介したもの以外にも村内に多くみられます。

①② 溶岩樹型

溶岩流が森林帯を流れた際、樹木が溶岩流中に閉じ込められ、木質部が炭化し、樹木の外形がしるされたものが溶岩樹型で、なるさわウエーションパーク等に存在しています。
②の溶岩樹型群は国の特別天然記念物に指定されています。

③④ 世界一の『溶岩スパイラル』群

高温の溶岩流が湿地などの水分が多い場所を流れたとき、溶岩流の熱のために湿地などの水分が急激に水蒸気化し、爆発的に溶岩流を突き抜けたものです。（下等質は断面）
世界的に報告例がきわめて少なく、質・量ともに世界一のスパイラル群といえます。

⑤ なるさわ富士山博物館

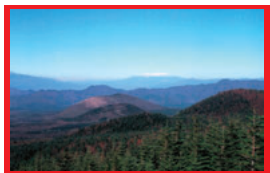
コンピュータ、三面マルチビジョン、巨大な模型や映像検査装置など、さまざまな手法を使って富士山の謎にせまる博物館です。
『地球の活動期』『Mr. Fujiシアター』『サイエンスワールド』の3つのゾーンにわかれ、富士山の成り立ちと周辺の自然を学習することができます。

鳴沢水穴

国道139号線沿いにある鳴沢水穴は、総延長が約52mあり、溶岩洞穴の中でも特異な形態を有しています。内部には2つの大広間があり、天井には完全な溶岩鍾乳石面がみられます。
富士山の雪解け水が湧出し氷結した通称『氷池』は天然水産出し、過去に富士天然水として販売されたこともあります。

富士山の寄生火山

富士山頂から北西方向に円錐状の側火山が多数みられます。
大きなものでは大室山や青木ヶ原溶岩流を生み出した長尾山などがありますが、小さいものも含めると富士山周辺には100個以上の側火山があります。



火山防災避難マップについて・・・ Q & A

・富士山はいつ噴火するの？

わかりませんが、過去2200年間に75回程度の噴火があり、前回の宝永噴火以来、約300年もの間、噴火していません。近年、富士山周辺では地下のマグマの動きによると思われる小規模な地震がしばしば観測されています。こうしたことから、富士山もすぐにはありませんが、いつかは噴火するとみられています。



・富士山はどんな噴火をするの？

過去2200年間はすべてが山腹噴火でした。また、多くの火山灰をだし、復興に30年以上の年月をついやした宝永噴火や青木ヶ原溶岩が流れ出した貞観噴火のような大規模噴火は2%であり、ほとんどが小規模噴火です。よって、統計的にみて、山腹から小規模の噴火が起こる可能性が高いといわれています。しかし、宝永噴火以来300年間も沈黙しているため、エネルギーをため込んでいる可能性もあり、油断は禁物です。

・噴火しそうな時や噴火が始まった時には何に気をつければいいの？

もしも富士山に異変があれば、気象庁から火山情報が発表されるので、テレビやラジオなどから正確な情報を得ることが重要です。避難や避難準備が必要になったときは、市町村から指示があるので、デマにまどわされず、あわてずに落ち着いて行動するようにしましょう。



・噴火に備えて何をしておけばいいの？

富士山が活火山であることや、どのような災害が考えられるかを知り、家族や地区で避難と連絡の方法を事前に話し合っておくことが大切です。また、非常持ち出し品をリュックサックに入れて普段から準備しましょう。

・融雪型火山泥流ってなに？

火山災害現象のひとつです。雪が積もっている時期に火砕流（細かく砕けた岩石が高温のガスとともに斜面を高速で流れ下る現象）が発生すると、雪が一気に溶けて斜面の土砂を取り込んで高速で流れ下ります。富士山に雪のある時期、特に2～4月は最も積雪が深いため、この時期に噴火が起こったときには注意が必要です。



災害用伝言ダイヤル

（毎月1日には、体験サービスがあります。（1月1日は除く））

避難時の安否情報の確認には、NTTの「災害用伝言ダイヤル」が便利です。

局番なしで1171にかけて 知人の安否情報を確認 できます。

自動アナウンスにしたがって簡単に 自分のメッセージを録音

避難に備えて準備しましょう。

■ 避難のときの持ち出し品

普段から防災用具をチェックし備えましょう！！

- | | |
|---------------------------------|------------------------------------|
| ☐ ヘルメット | ☐ マスク |
| ☐ ゴーグル | ☐ 衣類 |
| ☐ 水・非常食 | ☐ 常備薬 |
| ☐ 雨具類 | ☐ 防寒具類 |
| ☐ 携帯ラジオ | ☐ 通帳・印鑑・カード |
| ☐ 毛布・タオル | ☐ 電池・ライター |
| ☐ 乳児用品 | ☐ 介護用品 |
| ☐ 救急用品 | ☐ 懐中電灯・ロウソク |
| ☐ 現金・貴重品 | ☐ その他 |



避難する場合は、以下に注意しましょう。

■ 忘れてませんか？

1. 戸締まり、電気、ガスの元栓を確認しましょう。
2. 貴重品は忘れずに持参しましょう。
3. 非常持ち出し品を確認しましょう。
4. 外出中の家族のために、避難先を書いたメモを残しましょう。



■ 避難する場合は・・・

1. 市町村役場や消防団などの指示に従い、落ち着いて行動しましょう。
2. お年寄り、赤ちゃんのいる人、体の不自由な人、外国人などの避難を助けましょう。
3. 小石が降ってくることがあるので、ヘルメットなどで頭を守りましょう。また灰を吸い込まないようにマスクやゴーグルをつけましょう。
4. くぼ地には有毒ガスがたまりやすいので、近づかないようにしましょう。



災害用伝言板(携帯電話)

（毎月1日には、体験サービスがあります。（1月1日は除く））

「災害用伝言板」は、自分が被災地にいる場合に、携帯電話から伝言板に自分の安否情報を登録し、家族や知人が携帯電話やインターネット上から確認できるシステムです。